

ダイフェン配合錠・ダイフェン配合顆粒

【この薬は？】

販売名	ダイフェン配合錠 DAIPHEN Tablets	ダイフェン配合顆粒 DAIPHEN Granules
一般名	スルファメトキサゾール Sulfamethoxazole トリメトプリム Trimethoprim	
含有量	1錠中 スルファメトキサゾール 400mg トリメトプリム 80mg	1g中 スルファメトキサゾール 400mg トリメトプリム 80mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌に必要な葉酸の生合成を阻害する成分と、葉酸の活性化を阻害する成分の2つの有効成分を配合することにより、相乗的に抗菌作用を示します。
- ・次の目的で処方されます。

1. 一般感染症

<適応症>

- 肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染
- 複雑性膀胱炎、腎盂腎炎
- 感染性腸炎、腸チフス、パラチフス

<適応菌種>

スルファメトキサゾール／トリメトプリムに感性の腸球菌属、大腸菌、赤痢菌、チフス菌、パラチフス菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア・レットゲリ、インフルエンザ菌

2. ニューモシスチス肺炎の治療及び発症抑制

<適応症>

ニューモシスチス肺炎、ニューモシスチス肺炎の発症抑制

<適応菌種>

○ニューモシスチス・イロペチー

- ・この薬は、自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。
- ・この薬をニューモシスチス肺炎の発症抑制に用いる場合は、ニューモシスチス肺炎を発症する可能性のある次のような人が対象となります。
- ・免疫抑制剤を使用している人
- ・免疫抑制状態の人
- ・過去にニューモシスチス肺炎にかかったことがある人

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬により、再生不良性貧血、溶血性貧血、巨赤芽球性貧血、メトヘモグロビン血症、汎血球減少、無顆粒球症、ショックなどの重篤な副作用があらわれることがあるので、他の抗菌剤が無効または使用できない場合に使用されます。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にダイフェン配合錠またはダイフェン配合顆粒に含まれる成分やサルファ剤で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・低出生体重児、新生児
 - ・グルコース-6-リン酸脱水素酵素（G-6-PD）が欠乏している人
- 次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。
 - ・貧血、出血しやすいなど血液の病気がある人、または過去にかかったことがある人
 - ・本人または両親、兄弟が気管支喘息、発疹、じんましんなどのアレルギー症状を起こしやすい体質をもつ人、または過去に他の薬で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・高齢の人
 - ・葉酸欠乏または葉酸代謝異常のある人（胃の摘出手術をしたことがある人、他の葉酸代謝拮抗剤を使用している人、出産して間もない人、先天性葉酸代謝異常症の人など）
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

【一般感染症の場合】

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ダイフェン配合錠	ダイフェン配合顆粒
1回量	2錠	2g
飲む回数	1日2回	1日2回

【ニューモシスチス肺炎の治療の場合】

通常、成人および小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名		ダイフェン配合錠	ダイフェン配合顆粒
1日量	成人	9～12錠	9～12g
	小児	体重1kgあたりトリメトプリムとして15～20mg	
飲む回数		1日3～4回に分けて飲みます。	

【ニューモシスチス肺炎の発症抑制の場合】

通常、成人および小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名		ダイフェン配合錠	ダイフェン配合顆粒
1回量	成人	1～2錠	1～2g
	小児	体重1kgあたりトリメトプリムとして2～4mg	
飲む回数	成人	1日1回、連日又は週3日	
	小児	1日2回、連日又は週3日	

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

なお、ダイフェン配合顆粒は有効成分の苦味を除くためコーティングをしているので、かまずに水またはジュースなどで飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついたときに、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、精神神経系症状（頭痛、めまいなど）、結晶尿、血尿などがあらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、すぐに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の副作用について十分に理解できるまで説明を受けてください。この薬を飲んで血液障害（貧血、出血しやすいなど）や発疹などの皮膚の異常があらわれた場合は、すぐに医師に連絡してください。
- ・副作用の早期発見のため、必要に応じ臨床検査（血液検査、肝機能検査、腎機能検査、血中電解質など）が行われます。

- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、鼻血、歯ぐきの出血、階段や坂を上る時の動悸（どうき）や息切れ、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血が止まりにくい
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	からだがだるい、ふらつき、疲れやすい、立ちくらみ、めまい、頭が重い、白目が黄色くなる、動く時の動悸（どうき）や息切れ、皮膚が黄色くなる、褐色尿
巨赤芽球性貧血 きよせきがきゅうせいひんけつ	しびれや痛みを伴う舌炎、動く時の息切れ、動悸（どうき）
メトヘモグロビン血症 メトヘモグロビンけっしょう	疲れやすい、めまい、頭痛、顔面蒼白、唇や手足のつめが青くなる、息苦しい、息切れ
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
血小板減少症 けっしょうばんげんしょうしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
血栓性血小板減少性紫斑病 けっせんせいけっしょうばんげんしょうせいしはんびょう	発熱、鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血
溶血性尿毒症症候群 ようけつせいにょうどくしょうしょうこうぐん	けいれん、むくみ、発熱、貧血、意識の低下、考えがまとまらない、白目が黄色くなる、息苦しい、息切れ、紫色のあざ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、尿量が減る、しびれ、判断力の低下
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下


重大な副作用	主な自覚症状
中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis: TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (トキシック エピダーマルネクロライシス: テン)	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん(ステューブンス-ジョンソンしょうこうぐん)	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、食欲不振、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
薬剤性過敏症症候群 やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん	さむけ、ふらつき、汗がたくさん出る、発熱、意識がうすれる、考えがまとまらない、息苦しい、かゆみ、発疹、しびれ、判断力の低下
急性腭炎 きゅうせいすいえん	発熱、吐き気、嘔吐(おうと)、急に激しくおなかが痛む、急に激しく腰や背中が痛む
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんとうのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	嘔吐(おうと)、むかむかする、腹痛、下痢、血の混じった便、発熱、頻回な下痢、血の混じった下痢
重度の肝障害 じゅうどのかんしょうがい	からだがだるい、発熱、意識の低下、考えがまとまらない、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐(おうと)、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ、かゆみ、発疹、皮膚が黄色くなる、判断力の低下
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	関節の痛み、発熱、頭痛、膨れあがる感じ、血尿
無菌性髄膜炎 むきんせいずいまくえん	発熱、頭痛、嘔吐(おうと)
末梢神経炎 まっしょうしんけいえん	感覚がにぶい、痛み、手足のしびれ、手足の脱力や筋萎縮
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
P I E 症候群 ピーアイイーしょうこうぐん	発熱、咳、息苦しい、息切れ
低血糖発作 ていけつとうほっさ	ふらつき、脱力感、冷や汗、めまい、頭痛、動悸(どうき)、空腹感、手足のふるえ
高カリウム血症 こうカリウムけっしょう	唇がしびれる、手足が動きづらい、手足に力が入らない、手足のしびれ、手足のまひ、筋肉が衰える、筋力の減退
低ナトリウム血症 ていナトリウムけっしょう	けいれん、意識の低下、頭痛、吐き気、嘔吐(おうと)、食欲不振

重大な副作用	主な自覚症状
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、赤褐色尿

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、立ちくらみ、疲れやすい、からだがだるい、発熱、高熱、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、からだのむくみ、感覚がにぶい、痛み、関節の痛み、脱力感、冷や汗、けいれん、さむけ、汗がたくさん出る、むくみ、貧血
頭部	めまい、頭が重い、頭痛、考えがまとまらない、意識の低下、意識がうすれる
顔面	鼻血、顔面蒼白、ほてり、血の気が引く
眼	白目が黄色くなる、眼と口唇のまわりのはれ、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼がはればいたい
耳	耳鳴り
口や喉	歯ぐきの出血、しびれや痛みを伴う舌炎、唇や手足のつめが青くなる、のどの痛み、しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、嘔吐(おうと)、吐き気、から咳、咳、唇がしびれる
胸部	階段や坂を上る時の動悸(どうき)や息切れ、動悸(どうき)、息切れ、動く時の動悸(どうき)や息切れ、息苦しい、吐き気、むかむかする
腹部	食欲不振、吐き気、急に激しくおなかが痛む、むかむかする、腹痛、頻回な下痢、空腹感、膨れあがる感じ
背中	急に激しく腰や背中が痛む
手・足	唇や手足のつめが青くなる、関節の痛み、羽ばたくような手のふるえ、手足のしびれ、手足の脱力や筋萎縮、手足のふるえ、手足に力が入らない、手足のまひ、手足が動きづらい、手足のこわばり、足のしびれ、手のしびれ
皮膚	あおあざができる、皮膚が黄色くなる、じんましん、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、かゆみ、発疹、皮下出血、むくみ、紫色のあざ
筋肉	筋肉が衰える、筋力の減退、筋肉の痛み
便	血の混じった下痢、下痢、血が混ざった便
尿	尿量が減る、尿がでない、褐色尿、赤褐色尿、血尿、尿の色が濃くなる
その他	出血が止まりにくい、出血しやすい、判断力の低下、陰部の痛み、しびれ

【この薬の形は？】

販売名	ダイフェン配合錠	ダイフェン配合顆粒
形状	錠剤 	顆粒剤 
PTP シート /SP シート	表面  裏面 	
直径	約 11.0mm	—
厚さ	約 5.1mm	—
重さ	約 500mg	—
色	白色	白色～微褐色
識別コード	TSU341	—

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ダイフェン配合錠	ダイフェン配合顆粒
有効成分	スルファメトキサゾール、トリメトプリム	
添加物	ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースカルシウム、ステアリン酸マグネシウム	白糖、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースカルシウム、ヒプロメロース、含水二酸化ケイ素

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。

- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：鶴原製薬株式会社 (<http://www.tsuruhara-seiyaku.co.jp>)
医薬情報部： 電話 072-761-1456(代表)
受付時間 : 月～金曜日 9:00～17:30(祝祭日を除く)